

2017 年 てしかがアンケート 調査結果

実施時期:2017 年 8 月

調査対象:弟子屈町内の全幼稚園・保育園児、小中高生

配布回収:対象となる園・学校を經由して配布回収

回 収 数:433 票

回 収 率:56.1%

てしかがえこまち推進協議会 人財育成部会

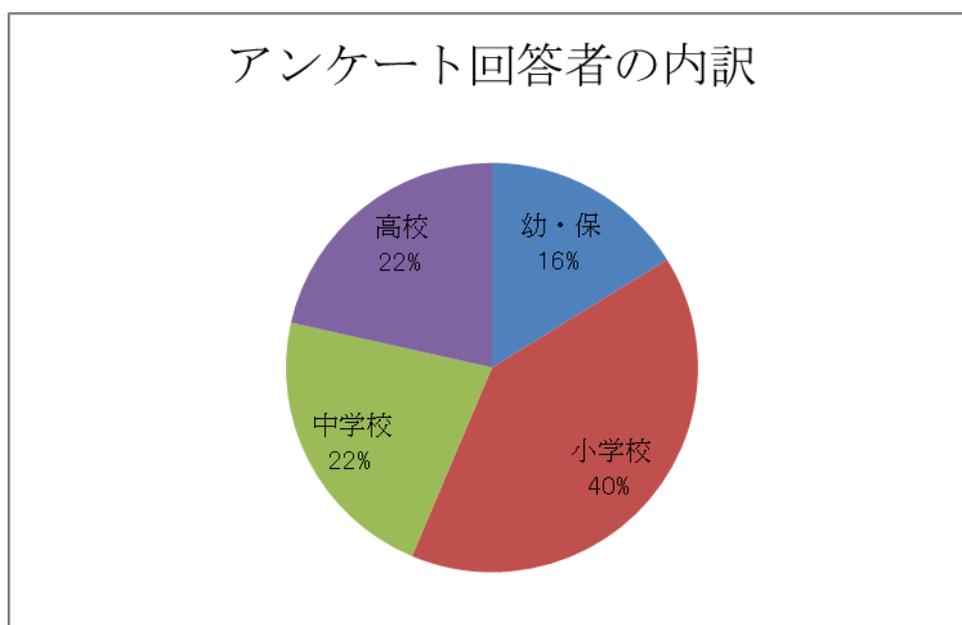
1. アンケートの目的

てしかがえこまち推進協議会は『誰もが自慢し、誰もが誇れる町』を目指し、地域の経済において観光を機軸とした様々な産業を包括した総合産業化に取組み、町の「自立」やその「持続」を図る組織です。

本アンケートにおいては、弟子屈町の将来を担う園児・児童・生徒が、ふるさとに対してどのような意識を持っているかを明らかにし、同協議会の今後の取り組みへの一助とすることを目的としています。

2. 回答者の内訳

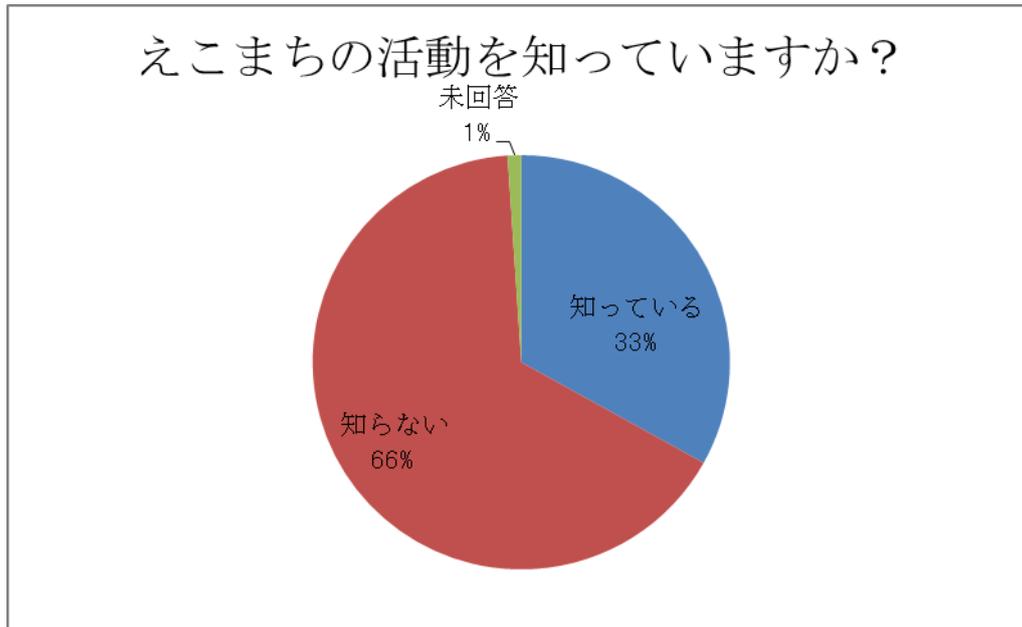
(n=433)



本アンケートについては、町内にある全ての幼稚園、保育園、小中高校の全園児、児童、生徒へ配布・回収しました。記入にあたっては保護者からの聞き取りによる回答を各家庭に依頼しています。

3. てしかがえこまち推進協議会への認知

(n=378)



「知っている」の回答は 33%でした。参加したことがある活動についての自由記述欄には、保護者の方を含めた記載がありましたが、てしかがえこまち推進協議会以外の活動の記載があるほか(*印)、「知らない」が過半数を占めているため、まだまだ協議会の活動について周知不足ということがわかります。

■参加したことがある活動(自由記述・原文のまま)

小学校

<1年>

- ・ほしぞらんかんさつかい
- ・ファシリテーター研修、オリエンタルランド研修、UD 部会など

<2年>

- ・知っているが参加したことはない
- ・地場産メニューのある飲食店ガイドを見てお店に行った事がある

<3年>

- ・活動している事は知っていますが、参加した活動は覚えてません。
- ・てしかが観光塾
- ・レシピ講習会
- ・食文化部会(母のみ)

<4年>

- ・星空観察会
- ・地場産メニューのある飲食店ガイドを見てお店に行った事がある
- ・UD 部会、ファシリテーター、星空観察会など

<UD 部会

・UD 部会

<5年>

- ・UD 部会
- ・星空観察会

<6年>

- ・星空観察会

高校

<1年>

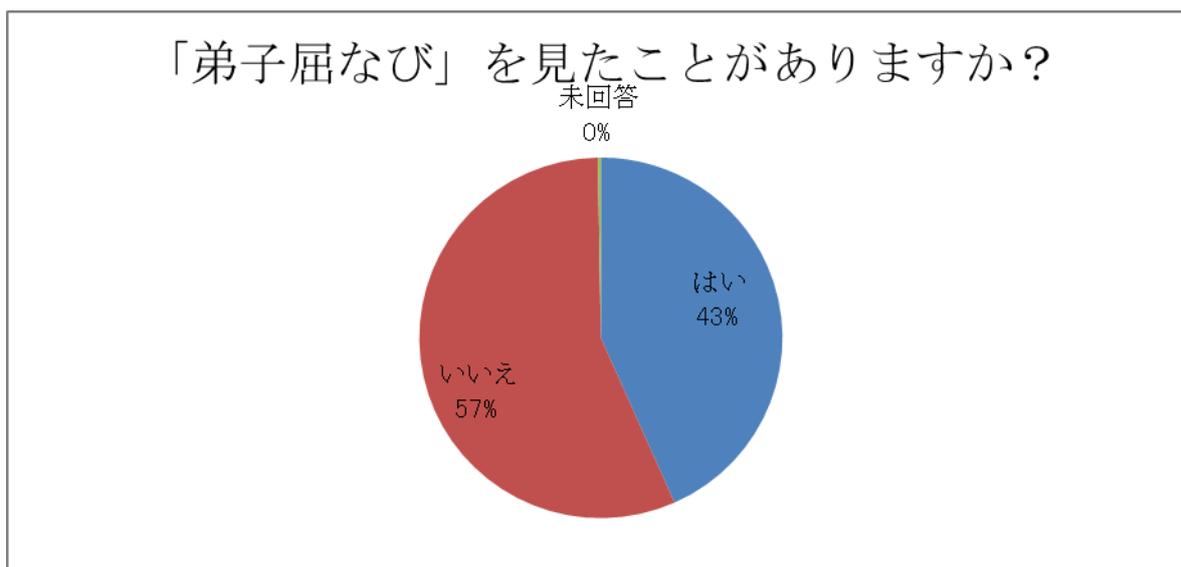
- ・フラワータッチ

<2年>

- ・そうだったのかスタンプ(*)

<3年>

- ・星空観察会
- ・バスツアー

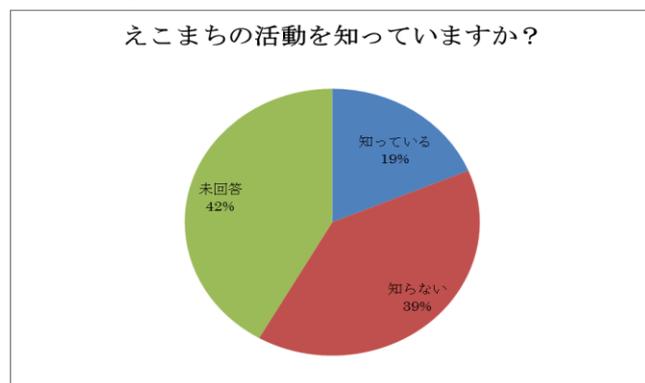


さらに、てしかがえこまち推進協議会の認知度を確かめるために、協議会で運営している観光情報ポータルサイト『弟子屈なび(<http://www.masyuko.or.jp/>)』の閲覧について尋ねました。

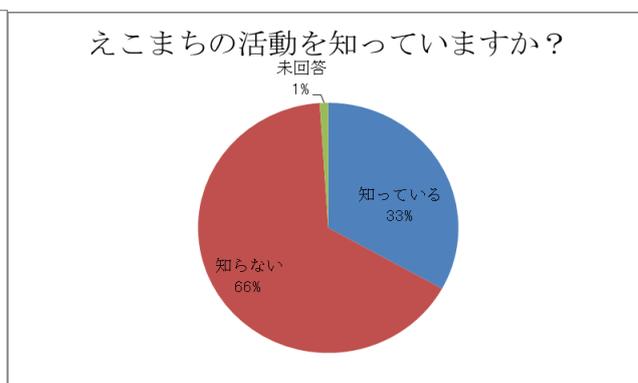
「はい」が半数に満たなかったことや、コメント欄は設けていませんでしたが「弟子屈なびに掲載されているお店の情報が古く、お店自体の web が更新されていないことが多い」とコメントが添えられていたことなど、課題も見えてきています。

※2012年実施のてしかがアンケートとの比較

<2012年>

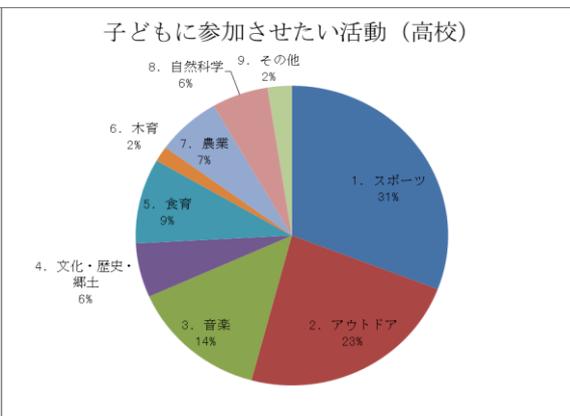
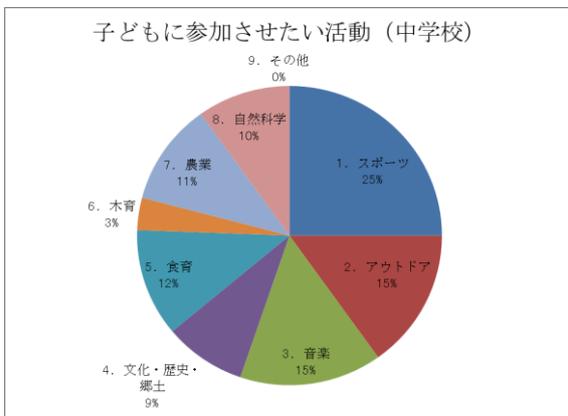
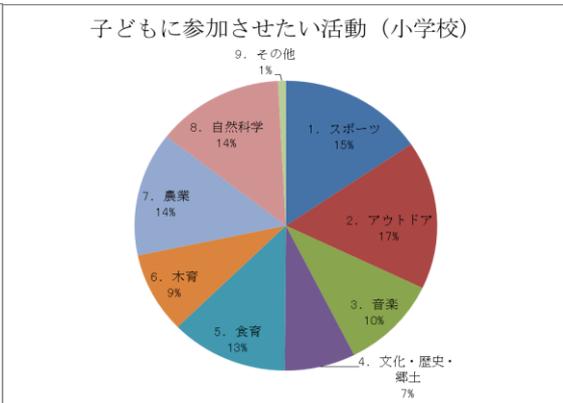
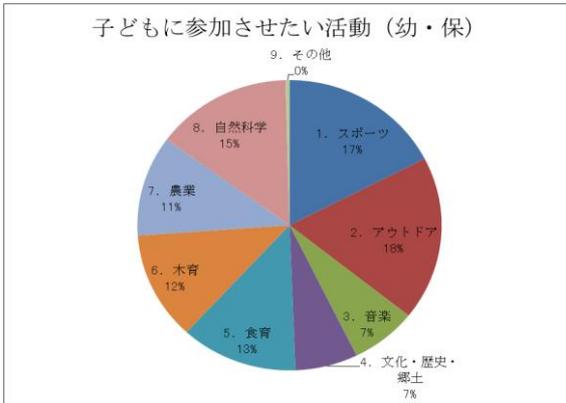
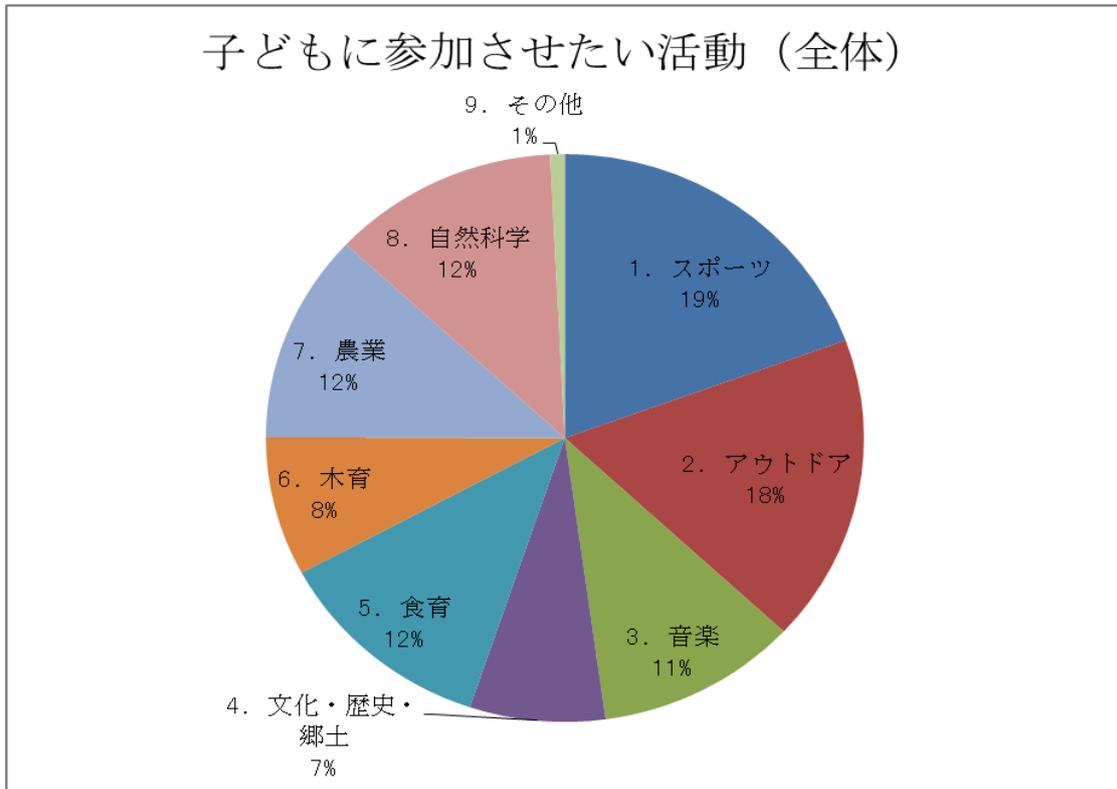


<2017年>



2012年と比べて、てしかがえこまち推進協議会の活動を「知っている」との回答が増えてはいますが、まだ認知度は3割ほどです。

4. 子どもに参加させたい活動(複数回答あり)



突出した項目は見られませんが、「スポーツ」「アウトドア」の割合が大きいことがわかります。コメント欄に寄せられた意見もふまえると、町の自然・文化・産業など、地域ならではの体験をさせたいという声が見られます。

■子どもに参加させたい活動(自由記述・原文のまま)

幼・保

<年中>

- ・スポーツや音楽は学校でもふれる機会があるので、弟子屈ならではの体験にみ力を感じる。(ここでしかできない体験)
- ・天体観測、カヌー体験
- ・今後気球体験などがあれば体験させたい
- ・地元の人を講師にしたわかりやすく楽しいプログラム
- ・こども音楽会

<年長>・弟子屈の虫について興味があるようです

小学校

<1年>

- ・なかなか個人ではむずかしい。学校の授業でどうかならないか。
- ・4のれきしのアイヌこうざ(アイヌの歴史講座)

<2年>

- ・地場産の野菜、肉などが食卓にならぶまで、どのように大切に育てられ、どれだけの苦労があったか知ることができる説明会やパンフレットがあると参加したい

<3年>

- ・キャンプ体験
- ・弟子屈産の食材を使って料理する、などでしょうか…!?
- ・キャンプ、スキー、そり、カヌー、バードウォッチング、アイヌ文化体験
- ・特になし
- ・キャンプ、スキーそり、カヌー、外国の方との交流
- ・クラシックコンサート
- ・弟子屈町ならではのアウトドア体験や住んでいる町の歴史について子供が学べたらなと思います。
- ・キャンプ

<4年>

- ・地場産の野菜、肉などが食卓にならぶまで、どのように大切に育てられ、どれだけの苦労があったか知ることができる説明会やパンフレットがあると参加したい

<5年>

- ・スキー体験、子供向け料理教室
- ・弟子屈の伝統的な音楽について触れる機会があるのかな?と思いました。
- ・2. アウトドア→登山 6. 木育→木登り 4. 文化・歴史・郷土→アイヌ語こうざ

<6年>

- ・特になし

中学校

<1年>

- ・山登り
- ・カヌーガイドが足りないと聞きました。なので子ども達にカヌーの楽しさを教えてもらいたいです

<2年>

- ・なし

<3年>

他町村には出来ないこと

高校

<2年>

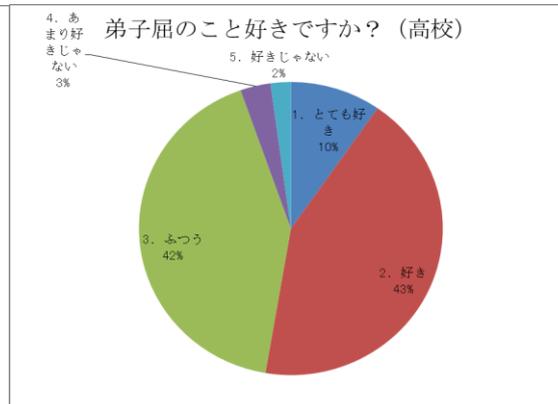
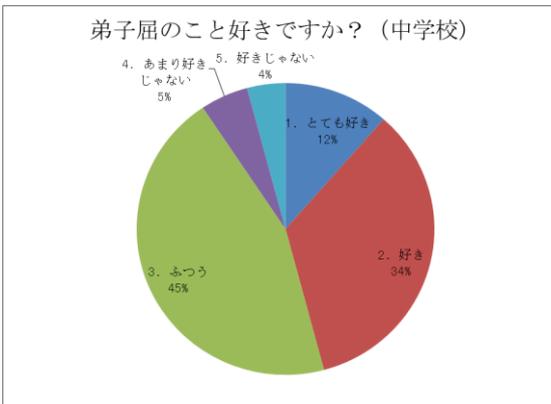
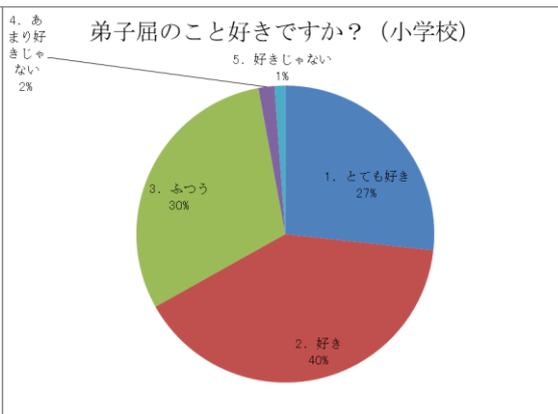
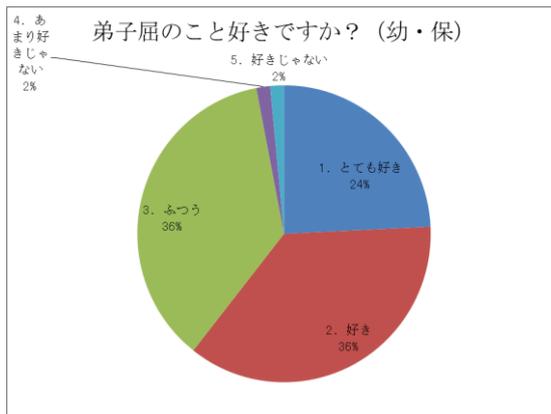
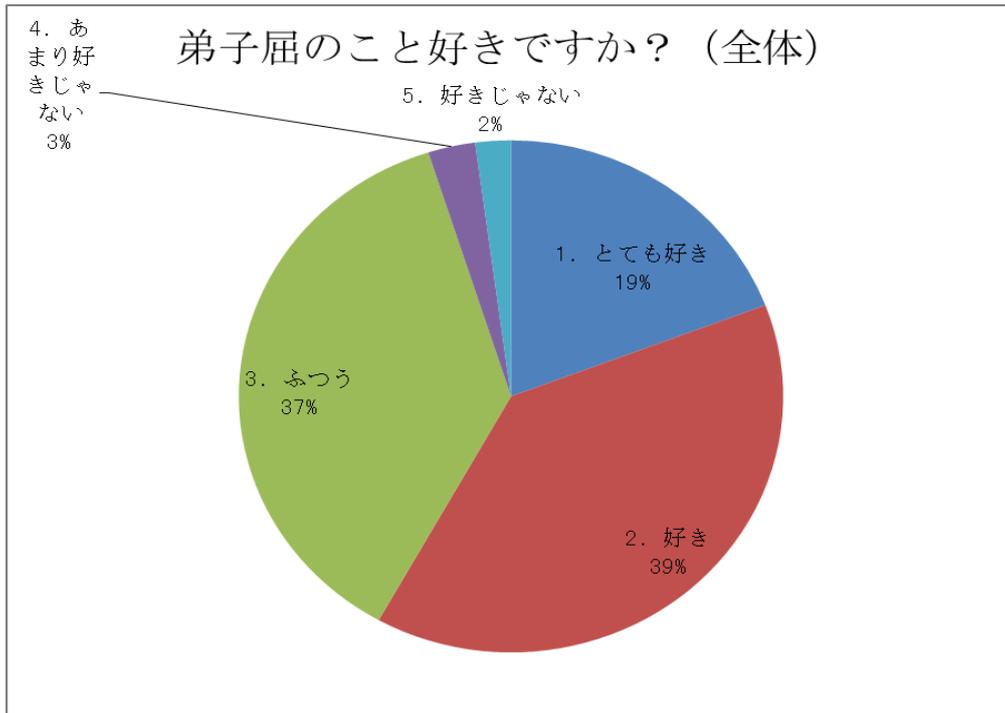
- ・カヌー

<3年>

- ・特になし
- ・国際交流

6. 弟子屈のこと好きですか？

(n=420)



全体では「とても好き」「好き」を合わせると半数以上となっています。自由記述から、好きである理由として見られるのは、友達をはじめ近い人とのふれあいや、自然の豊かさ、食べ物のおいしさが目立ちます。一方で、「ふつう」「あまり好きじゃない」の回答からは、交通の不便さや遊ぶ場所が少ないなどのコメントがありました。

■弟子屈のこと好きですか？(自由記述・原文のまま)

幼・保

1. とても好き

<年中>

- ・自然がたくさんあるから
- ・いっぱい公園があるから

<年長>

- ・公園がたくさんあるから
- ・自然がたくさんあるから

- ・まだよく理解していない

<年中>

住み始めてから月も浅く、まだ体験させていないのでこの街のここが好き。という感情はないようです。

<年長>

- ・釧路とかのほう遊ぶ場所がたくさんあり(公園などを含め)楽しいとのこと

2. 好き

<年少>

・弟子屈町にはたくさんお友達がいるので好きだそうです

<年中>

- ・幼稚園が楽しい
- ・家に帰ってからも近くの公園に行けばお友達がいることが多い(近所に子供が多い)
- ・幼稚園までの道のりに野の花がたくさん
- ・自然の中で子供の遊べる場所が多くある

<年長>

- ・まだまだ知らないことが多いので、いろいろ体験することでもっともっと好きになるといいですね。
- ・そばが大好きです。
- ・弟子屈町民の歌が好きです
- ・じいじやみんながいるから
- ・おいしいものがいっぱいあるから
- ・息子は僕の住んでいるところはお花がたくさんあってきれいといつも言っています
- ・子育てがしやすい

4. あまり好きじゃない

<年中>

- ・あまり遊ぶところがない

5. 好きじゃない

<年中>

おもちゃを買うお店がおまりないから

3. ふつう

<年少>

- ・子供が好きかどうかなんてわかりません
- ・まだ小さいのでよくわからない様子です
- ・小さいのでよくわからない様子です
- ・そのうち成長して弟子屈のことを知ることで好きだと思えるといいですね

小学校

1. とても好き

<1年>

- ・摩周湖と屈斜路湖があって摩周湖は水がきれいだし、透明度も高いから(と話していました)
- ・お祭りが沢山あるから。

<2年>

- ・しぜんがいっぱいあってへいわだと思ふ。
- ・子供は、たけし先生や、友達がいるから！！と言っていました。私はそれでじゅうぶんです。
- ・弟子屈は広くて好き。サイクリングに行ったりあそべるから。じゃがいもが好き。みそ汁や肉じゃがにするとおいしいです。摩周メロンも好き。弟子屈の人は優しいし、助けてくれるから好き。沢山友達もいる。家族や友達がいてあそべて楽しい。
- ・友人がいっぱいいる。
- ・小さい町だけどみんな親切で過ごし易いから。
- ・小さい町だからこそイベントなどに参加しやすい。友達や知っている人が多いので。

- ・自然がいっぱいあるから。

<3年>

- ・自然の中でたくさん遊べる。
- ・都会よりも安全。

<4年>

- ・優しい人がたくさんいる。
- ・自然がいっぱい。

<5年生>

- ・空気がおいしい。
- ・湖がきれい。
- ・人が優しい。
- ・たくさんの人と触れ合える。

2. 好き

<1年>

- ・うまれたときからいるので、なれている。他とくらべたことはない。
- ・楽しい(砂湯)、エゾシカバーガーがおいしい。
- ・大好きだからだそうです！

- ・お友達がたくさんいるから。ゲーム屋さんがないのが嫌。

- ・小さな頃から森の公園や水郷公園や道の駅などで遊ばせている。道の駅のココアを飲むのが好きなようです。

- ・お友達がたくさんいる。

- ・屈斜路と川湯が大好き。

- ・お店の人とも仲良くなれる。

- ・もっとお店が増えて、もう少し賑やかになって欲しい。

<2年>

- ・道路に花がたくさん咲いていてキレイだから。

- ・ザリガニ釣りができるから。

- ・いろんなものがあるから！

- ・おいしいアイスがあるから、友達がいるから、釣りができるから、遊び場があるから

<4年>

- ・摩周湖がある。

- ・摩周メロンがある。

- ・自然が豊かなところ。

- ・交通が乏しいため、車の送迎なしで、行きたいところへ行けない。

- ・自然がたくさんあって、美しいところ。

3. ふつう

<1年>

- ・釧路など公園が多く、遊ぶ所もたくさんあるのでそういう所の方が好きなようです。

- ・よくわからない。

<2年>

- ・子供はお友達がいるから弟子屈は好きだけど、お店が少ないのがいやだから「ふつう」と答えました。

- ・まだ小2なので感心がない。

<6年>

- ・空気がいいけどあまり買い物がきちんとできない。

4. あまり好きじゃない

<1年>

・以前、住んでいた地域にはたくさん公園があったのに、弟子屈にはない！！と言っています。草や木ばかりでコワイ。

5. 好きじゃない

<1年>

・遊ぶ所がないから。

中学校

1. とても好き

<1年>

・自然が豊か。
・他にはない自然が広がっているから。

<3年>

・自然が多くて人も良くて好きです
・自然がたくさんで空気がきれいだから。

2. 好き

<1年>

・観光スポットがたくさんあるから
・特になし
・弟子屈の人はみんな優しい人。自然がたくさんある。
・川湯温泉も好きだから。

<2年>

・自然が豊かだから
・自然が多いから
・有名な摩周湖があるから
・自然と人がうまく生きている感じがあるから
・何度も都会に行った身からすると、弟子屈は静かで空気もいいし住みやすいから

<3年>

・自然が多いから
・子どもが最終的に弟子屈に帰ってくる活動をのぞみます
・生まれ育った所だから
・食べ物や温泉がとてもいいから。

3. ふつう

<1年>

・何もないから
・他の町の事を知らないから分からない
・好きというわけでもなく、人々の方やさしく接して下さっているため
・遊ぶ場所がない

<3年>

・遊ぶ所がない
・楽しめる場所がない
・自然があつて良い。不便

4. あまり好きじゃない

<1年>

・にぎやかじゃない。町の人が弟子屈を支えない。草むらにいっぱいゴミが落ちている。若い者が好みそうな店がない

<2年>

・遊ぶ場所がない
・わんがんミッドナイトが無いから

高校

1. とても好き

<1年>

・空気がキレイ、きれいな星が見える、野生動物がたくさんいる

<2年>

・仲間がいて楽しいから
・自然が沢山あるから
・人が少なくて空気がおいしい
・大自然が楽しめる
・ごはんがおいしいから！

<3年>

・きれい
・人があたたかい。

2. 好き

<1年>

・過ごしやすいから
・自然が豊か、空気がきれい
・自然が多いから
・自然が豊かで人が親切だから

<2年>

・交通量が少ないから
・自然が多く、空気がキレイだから。
・自然が多く、住みやすいから。

<3年>

・落ちつくから
・住みやすいが進学に不便
・温かさを感じるから・・・。
・町民の方々が温かく、過ごしやすい町だから。
・落ちつくから。時間の流れがゆっくりだ。

3. ふつう

<1年>

・虫が多い
・自然の中でのびのびと暮らせる
・遊ぶ場所がないから

<2年>

・病院の科の少なさ、病院の先生の対応など
・なにもない。でも自然とか景色がきれい

・子供の人数が少ない

・良くも悪くもなくふつうだから。

4. あまり好きじゃない

<2年>

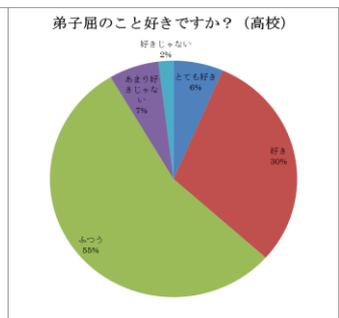
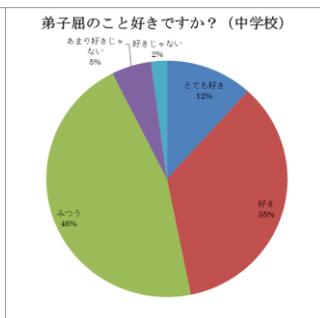
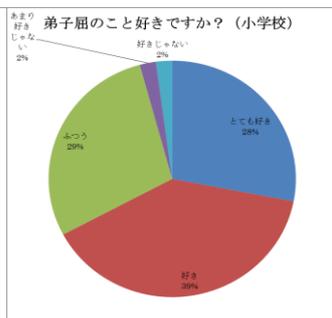
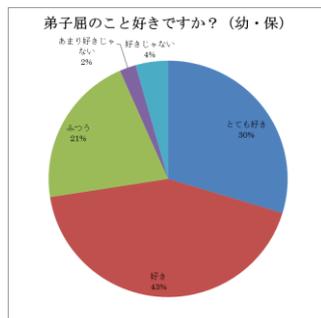
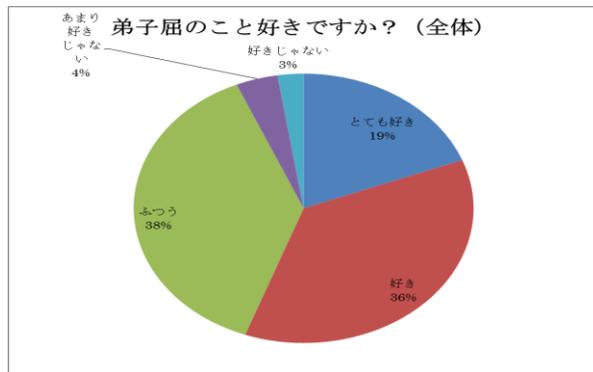
・やりたいことができない

<3年>

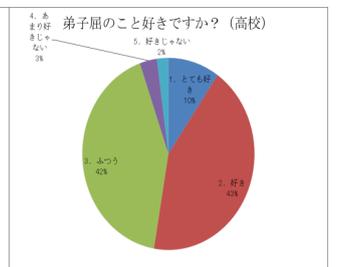
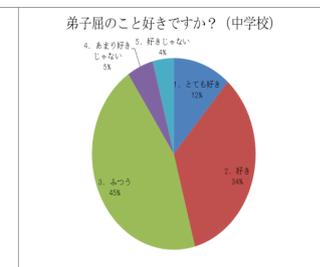
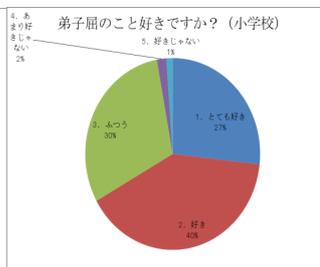
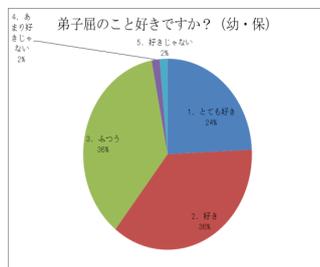
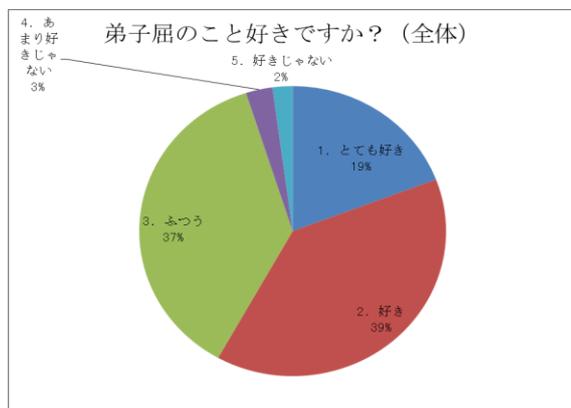
・田舎だから

※2012年実施のてしかがアンケートとの比較

<2012年>



<2017年>



2012年の結果と比べ、全体の割合に変化がありませんが、それぞれの世代を見ると、幼・保の「ふつう」の割合と、高校の「好き」の割合が増えていることがわかります。

高校で「好き」の割合が増えているのは、小中高それぞれの世代でのふるさと学習によって地元への理解が蓄積されてきたことと、弟子屈高校3年生全員が応募する全国高等学校観光選手権大会など、自分の地域を見つめ直す取り組みが行われていることが、成果として現れているものと考えられます。

しかしながら、幼・保の世代で「好き」が減り「ふつう」が増えています。特に低年齢の子どもの回答は、親の日頃の姿勢が反映されていると思われます。子どもだけでなく親子一緒にふるさと学習が行えるような取り組みなど工夫が必要になると考えられます。

7. まとめ

弟子屈町の基幹産業の観光を活性化させるためには、全国・全世界の観光客に選ばれる地域でなければなりません。町の観光を外にPRする一方で、町民ひとりひとりが自らふるさとを自慢できていることがとても重要です。

アンケートの自由記述に、「町の特産品が美味しい」「摩周湖がある」「自然が豊かである」というコメントがあがるのは、小中高のふるさと学習の成果であると考えられ、各年代で継続していきたい取り組みです。

さらに、「友達が好き」「人がやさしい」「お祭りがある」といった、人と人の温かいつながりが目に見えるのは田舎ならではの良さであり、今後も大切にしたいことのひとつです。

一方で、生活や交通の不便さから「ふつう」という回答や、「草木ばかりでこわい」や「虫が多い」といったコメントも見られます。阿寒摩周国立公園に代表される弟子屈町の豊かな自然環境を良いと感じられるかどうかも重要なポイントであると考えられます。

高校は、自らの進路を本格的に考える時期であり、弟子屈町を離れることを選択する生徒も多いのが現状ですが、将来的に弟子屈に戻ってきたいと思ってもらえるよう、また離れた土地でふるさとを自慢してもらえるようにアプローチしていくことは、今後さらに取り組んでいきたいことです。

この取り組みには、土台となりうる、幼・保、小、中での継続したふるさと学習も必要不可欠であると考えます。

私たちがしかがえこまち推進協議会では、各テーマに基づいた専門部会が『誰もが自慢し、誰もが誇れる町』を実現させるために活動に取り組んでいます。

次世代を担う人財が、少しでも町への愛着をもって育っていけるよう、多くの町民の皆さんのご参加を期待するとともに、今後とも引き続き、しかがえこまち推進協議会活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

てしかがえこまち推進協議会（事務局：弟子屈町役場観光商工課内）

人財育成部会：上村剛志、大塚将利、上坂美由紀、炭田晃希、田口誠、萩原寛暢

事務局：阿部佑己、花房孝陽